



球界の
仕掛け人

球界の寝業師

球界の
人事部長

東海村発足70周年記念 × 生誕100年 東海村の郷土の偉人

根本 Rikuo Nemoto 陸 夫 展

会期 令和8年1月4日(日) — 令和8年2月15日(日)

場所 東海村歴史と未来の交流館 企画展示室

現役時代、スター選手であったわけではなかった
決して、名監督と言える成績を残したわけでもなかった

しかし、彼が去ったチームは、必ず強くなり、優勝を果たした
野球界に今もなお、様々な異名が残り、多くの野球人がオヤジと慕う男
その男の名は、根本陸夫

東海村歴史と未来の交流館

茨城県那珂郡東海村村松768番地38 TEL.029-287-0851

e-mail: syougaiyakusyu@vill.tokai.ibaraki.jp

開館時間 〈平 日〉9:00 - 19:00

〈土日祝〉9:00 - 17:00

休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌平日) 祝日の翌日



交流館までのアクセスは
こちらの二次元コードから
ご確認ください。

生まれ故郷の東海村に、ついに —

凱旋

東海村発足70周年記念×生誕100年 東海村の郷土の偉人

根本^{Rikuo Nemoto}陸夫展

今もなお、根本陸夫の名は、プロ野球界の表も裏も知り尽くした男の名として伝説となっています。

伝説の男「根本陸夫」とはどのような人物だったのでしょうか。

数多く残される書籍や記事、聞き取り調査から、彼が何を考え、そして何を未来に期待していたのか、そして地元東海村とどのように関わっていたのかを紹介します。

プロ野球選手として活動した近鉄パールス(後に近鉄バファローズ)の球団旗、生涯の友であった関根潤三にまつわる品、王貞治、田淵幸一、石毛宏典、工藤公康、清原和博など、数多くの根本陸夫が関わった野球選手にまつわる品が一堂に会します。

この機会にぜひ、ご来場ください。

その全貌が明らかに

【関連イベント】

① 石毛宏典(いしげひろみち) 元プロ野球選手
(西武ライオンズ他)によるトークショー



「おやじ・根本陸夫を語る」

令和8年1月25日(日) 14:00～15:30(開場13:30)

場 所 東海村産業・情報プラザ アイヴィル 多目的ホール(東海村舟石川駅東3丁目1番1号)
定 員 150名程度(先着)
申 込 令和7年12月16日(火)～令和8年1月20日(火)までにメール、電話、窓口にて申し込み。
費 用 無料(どなたでもお申込みいただけます)
抽選で、石毛宏典氏のサイン色紙を10名様にプレゼントいたします。
申し込み先 東海村歴史と未来の交流館
電話 029-287-0851 メール maruhaku@vill.tokai.ibaraki.jp

根本陸夫とは

大正15年生まれ。父は、東海村の村長(二代目)を務めた根本時之介^{ときのすけ}。祖父は、石神駅から村松虚空蔵尊へ向かう「村松軌道」という鉄道を敷いた実業家、根本秀之介^{ひでのすけ}。石神小から三の丸小、茨城中、日大三中へと進み、関根潤三とバッテリーを組んだ。その後、法政大学へ進み、近鉄パールス(のちの近鉄バファローズ)でプロ野球選手となった。現役生活は短かったが、その後は裏方へと周り、広島東洋カープ、西武ライオンズ、福岡ダイエーホークス(現福岡ソフトバンクホークス)の監督を務めた。監督としての成績は華々しいものではないが、根本陸夫が監督を務めた後のチームはすべて強くなり優勝を果たした。福岡ダイエーホークス球団社長であった1999年4月、突然逝去。その年、福岡ダイエーホークスは悲願の優勝を果たした。

オーナー以外の仕事は何でも行っただけと言われ、全国に張り巡らされた根本人脈からなる選手のスカウトやフロントとしての手腕は野球界に今もなお残る伝説である。日本で初めてのGM(ゼネラルマネージャー)としてその功績は高く評価され、競技人としてではなく野球の殿堂入りを果たした稀有な人物である。

東海村歴史と未来の交流館

茨城県那珂郡東海村村松768番地38 TEL.029-287-0851 e-mail:syougaiakusyu@vill.tokai.ibaraki.jp
開館時間 〈平日〉9:00～19:00 〈土日祝〉9:00～17:00 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日) 祝日の翌日



交流館までのアクセスはこちらの
二次元コードからご確認ください。